

# 二〇一九年度 入学試験問題

## 国 語

### 第二回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから六ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙の解答らんに記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

## 問一

——(1)「水は流れ出てしまい、」とありますが、これは、具体的にはどのような状況ですか。解答らんんに二行以内で答えなさい。

## 問二

——(2)「水を注ぎ入れるペースをアップする」とありますが、具体的にはどうすることですか。解答らんんに二行以内で答えなさい。

## 問三

——(3)「東京はともかく、他地域は困ってしまいます。」とありますが、地域同士がどのような関係になるのがのぞましいのでしょうか。解答らんんに二行以内で答えなさい。

## 問四

〔4〕に入れるのにふさわしい漢字二字のことは文中から抜き出しなさい。

## 問五

この文章は二つに分けることができます。後半の最初の五字を抜き出しなさい。(読点やかっこなどがあれば字数に入ります。)

## 問六

〔A〕〔D〕に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア たとえば      イ しかし      ウ つまり      エ やはり

## 問七

——(ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

## 問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 地域のなかで工事が行われても、労働者が地元の人であれば、多くの人々が疲労するので地域のためにならない。

イ 地域経済を「バケツ」によって説明したのは、都市と地方の豊かさの格差が水の量のイメージで直感できるからである。

ウ いまの地域経済は、地域に入ってきたお金があまり残らずに出ていくので、それを少しでも減らすことが課題である。

エ 地元には工場を誘致した場合、一時的には地域経済は活性化するが、長期的には地方の個性が薄らぎ失敗することがある。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

---

115

110

105

100

## 問一

——(1)「初めてこの土地を訪れたとき、その場所はただの泥土だった。」とありますが、この土地に来たときの歩の状況はどのようなものですか。次のア～エの中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 父の車で北上を続けるうちに偶然辿り着いたが、人の気配がまるでしない原生林の神秘的な様子を母が気に入る、この土地に家族で移り住むことを決めた。

イ 東京から越してきたときは冬で、枯れ木や何も植えられていない水田ばかりの殺風景な様子が目立っており、とても人が住んでいようには思えないという印象を受けた。

ウ 豊かに水を張られた初夏の水田が人気のない中でひっそりと存在していて、そこに佇む白鷺の姿に胸を打たれた。

エ 東京から逃げるようにいくつもの山を越えて、一家でさまよっていたところ、人の気配がしない田園風景の様子に、最初に生活を始めた一戸に自分たちを重ねた。

## 問二

——(2)「こんな山間の谷奥に、人が住んでいることが不思議だった。」とありますが、これはどういうことですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問三

——(3)「歩は何も答えられずに微笑を浮かべるばかりだった。」とありますが、これはどういうことですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問四

——(4)「母は困ったような微笑を浮かべ、」とありますが、なぜそのような表情をしたのですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問五

——(5)「今度は確かな微笑を浮かべて、」とありますが、この時の母はどのような心情ですか。次のア～エの中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 自分の生まれ育った街の郷土料理を褒められたことを、誇らしげと感じている。

イ やんちゃに思えた晃と稔の真つ当な受け答えを、気持ちいいと感じている。

ウ 自信の無かった手料理を褒められたことを、嬉しさと感じている。

エ 田舎料理であるそうめんを喜ぶ幼い反応を、可愛いと感じている。

## 問六

——(6)「五穀豊穡」とありますが、食べ物を使った次の一～五の成句の意味を後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

一 絵にかいたもち

二 みそをつける

三 とんびに油揚げをさらわれる

四 朝めし前

五 丸い卵も切りようで四角

「意味」

ア たやすいこと。

イ 大切なものを突然わきからうばいとられること。

ウ 見たところはりっぱだが、じつさいには何の役にも立たないこと。

エ 失敗すること。

オ ものごとは、言い方や、やり方によって、おだやかにいくこともあれば、けんかになることもある、ということ。

## 問七

——A D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア だから イ しかし ウ また エ やがて

## 問八

——本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 歩は何もない土地でずっと暮らしてきた晃と稔を見下しており、常に一定の距離を保とうとしている。

イ 歩は小道具作りや学校での生活を退屈だと感じており、友人たちの前や納屋で一人浮かれる母のことを恥ずかしく思っている。

ウ 歩は晃と稔が本当は意地の悪い人間であることを知っており、自分たちの悪口をいつ言い出すかと、常に警戒している。

エ 歩は自分がよそ者である、土地に馴染めていないということを感じており、晃や稔と完全には打ち解けられずにいる。

